

I 中部地方の環境の現状

1 温室効果ガスの排出状況

温室効果ガスのうち、県別の二酸化炭素(CO₂)の排出量を下記の表にまとめました。人口規模が大きく製造業などの産業が盛んな愛知県が最も多く、年間77,315千tとなっています。次いで三重県が29,736千t、長野県が16,154千tと続いています。

京都議定書の基準年である平成2年(1990年)と排出量を比べると、岐阜県は減少、福井県がほぼ同程度ですが、石川県で37.4%、長野県で23.1%増、富山県で22.6%増、三重県で19.5%増と全国平均(平成18年度11.0%増、平成19年度14.0%増)よりも増加しています。部門別内訳を見てみると、三重県、愛知県では産業部門からの排出が全体の5割以上を占め経済活動が活発です。特に、業務部門と家庭部門が全ての県で増加率が高い現状です。オフィスや家庭での温暖化対策に積極的に取り組む必要がこの表からも窺えます。

表 中部地方の各県における二酸化炭素(CO₂)排出量 単位：千t-CO₂、%

	富山県	石川県	福井県	長野県	岐阜県	愛知県	三重県
	H19年度 (2007)	H18年度 (2006)	H20年度 (2008)	H19年度 (2007)	H19年度 (2007)	H20年度 (2008)	H19年度 (2007)
産業部門	6,891	3,033	3,498	4,473	5,489	39,090	17,399
1990年比	110.3%	103.2%	84.6%	106.5%	86.5%	91.1%	115.6%
部門比	44.6%	26.6%	42.1%	27.7%	36.0%	50.6%	58.5%
運輸部門	2,231	2,731	1,709	4,437	3,915	11,825	4,378
1990年比	107.5%	131.5%	114.9%	114.7%	89.3%	107.1%	105.4%
部門比	14.4%	23.9%	20.6%	27.5%	25.7%	15.3%	14.7%
業務部門	2,630	2,191	1,150	3,890	945	10,566	3,130
1990年比	177.3%	187.1%	158.0%	150.9%	105.8%	126.0%	185.6%
部門比	17.0%	19.2%	13.8%	24.1%	6.2%	13.7%	10.1%
家庭部門	2,636	1,814	1,161	3,179	3,063	9,375	2,424
1990年比	168.5%	147.6%	128.6%	137.2%	130.3%	128.2%	131.3%
部門比	17.1%	15.9%	14.0%	19.7%	20.1%	12.1%	8.2%
その他	1,066	1,650	798	175	1,819	6,459	2,405
1990年比	92.9%	183.7%	78.1%	109.4%	114.9%	137.3%	111.8%
部門比	6.9%	14.5%	9.6%	1.1%	11.9%	8.4%	8.1%
合計	15,453	11,419	8,316	16,154	15,231	77,315	29,736
1990年比	122.6%	137.4%	100.5%	123.1%	97.9%	104.0%	119.5%

※各県の環境白書及び排出量公表値より作成、県ごとに公表年度及び推計方法が異なります。また、合計は四捨五入により一致しない場合があります。

※「その他」内訳
 富山県：エネルギー転換・廃棄物・フロン類・水道供給・農業部門、笑気ガス
 石川県：エネルギー転換・廃棄物部門
 福井県：エネルギー転換・廃棄物・工業プロセス部門
 長野県：エネルギー転換・廃棄物部門
 岐阜県：廃棄物・工業プロセス部門
 愛知県：エネルギー転換部門、非エネ起源CO₂, CH₄, N₂O
 三重県：エネルギー転換・廃棄物・工業プロセス部門